

組合の活性化

「365日24時間生活を守る」

ACTIVE KUMIAI

運送業界は、国民の暮らしを守るため、365日、24時間、物流の担い手として、お客様のところへ安全に荷物をお届けすることを大使命として、休むことなく活動している。

そのため、山梨県トラックターミナル協同組合では、運送業の基本である事故防止のために、運転手の健康管理(集団健康診断の実施)、運行

前の車の点検を徹底させることなどに取り組んでいる。

さらに、組合では、燃料の共同購買事業を、組合の最大事業として位置づけ、いかに安価な燃料が購入でき、安定供給が受けられるのか、特に、本年3月11日の東日本大震災のような状況の中、運送業の命ともいう軽油の供給が安定的に受けられるようにするかが、大きな課題である。

組合には、ガソリンスタンドがあり、近い将来、地下タンクの改装が義務づけられることから、その資金手当をどうするか、これも組合の大きな課題となっている。

また、食堂事業については、過去は全国的に成功例といわれていたが、最近では、食への様々な環境の変化もあり、年々食数も、売上げも減少し、赤字経営が続いており、今年度は、存続を含め、改善策を模索しなければならない難題がある。

前述したとおり、運転手が主役の運送業であるので、いかに、組合として従業員の教育研修事業が出来るかは、当然のことである。

以上のように、組合がしなければならぬ課題は多くあり、また組合員は組合員として、会社の特長を生かし、様々な経営資源を活用し、厳しい経営環境を克服し、中長期的ビジョンを作成し、生き残りを考えなければならぬ。組合と組合員の努力は常に不可欠である。

TOPICS

山梨県トラックターミナル協同組合



組合会館



ガソリンスタンド